

My-Star Network

輸入車整備工場をサポートする

Tech plus

Vol.220

2024年10月号

マイ・スターネットワーク20周年特別企画

話題の整備ツールを
格安価格でご案内します!



Special Column

素材から見た新視点のメンテナンス考 Part.02 インテリア編

マイ・スターネットワーク

20周年

を迎えました!

ご愛顧
ありがとうございます!
ございます!

拝啓

平素より当社の整備ネット会員サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。2004年に誕生しましたマイ・スターネットワークは今年20年目を迎えることができました。当初は、大阪に2拠点、埼玉に1拠点からの始まりでしたが、今や151社の整備工場の皆様にご参加いただいております。

20周年を迎えた今年、皆様に深く感謝を申し上げるとともに、特別な企画をご案内いたします。この機会に是非、ご活用いただけますようお願い申し上げます。

敬具



謝恩企画のご案内

謝恩企画 AUTEL MS906Pro OBD 検査対応 V200 付き
定価 248,000 円 (税別)

- ▶ **会員継続 20年以上**
→ **謝恩特別価格 186,000 円 (税別) 25%レス**
- ▶ **会員継続 10年以上**
→ **謝恩特別価格 198,400 円 (税別) 20%レス**
- ▶ **会員継続 10年未満**
→ **謝恩特別価格 210,800 円 (税別) 15%レス**



**OBD
検査対応
V200付き**

※上記謝恩企画はダイヤモンド・プラチナ会員が対象となります
※数量限定でのご提供となります
※送料別途かかります

8インチタッチスクリーン、アンドロイド 10.0 故障コード読取 / 消去、ライブデータ8、アクティブテスト
作業サポート、カスタマイズ機能、車検証 QR コード読取、コーディング (オフライン) など
■対応車種：国産車、輸入車を含め、合計60メーカー以上対応、1年無料更新、技術サポート付き

本企画は 2024 年 12 月末日までとなります



マイ・スターネットワークでは会員様向けに輸入車整備をサポートする情報提供や整備機器を販売・レンタルしています。近年、注目を集める整備となっているエーミングにおいても、整備の現場にマッチした自社開発のスマートエーミングを販売しています。リニューアルしたホームページにもその詳細を解説しているのでぜひご覧ください！



● 輸入車整備工場検索サイト



● 整備工場支援サイト



クルマのパーツに関する「なぜ？」の根本に迫る！

金属・カーボン・ゴム・樹脂・革……

PART.02 インテリア編

素材から見た新視点のメンテナンス考

「素材」を知ることで、効果的なケア方法も導き出す本企画。前号に引き続きPART.02のインテリア編をお届けしよう。ダッシュボード、シート、フロアマット、ステアリングなど、汚れやすく経年劣化の影響を受けやすい部位を中心に紹介！

インテリア編 【ダッシュボード回り】



ダッシュボードは、1990年代製のほとんどのクルマではビニールレザー張り、最近のクルマでは樹脂に柔軟性の高い塗装をしているだけのクルマも多く見かける。まずビニールレザー張りや塗装仕上げの場合は、どちらも合成樹脂に対してのケアを考えてみよう。特にビニールレザー張りは、紫外線やオゾンに冒されて柔軟性が損なわれると、バクリ裂けることがある。専用のシリコン系スプレーでときどき保護被膜を作ってやるといい。本革の場合は、基本は固く絞ったウエスで水拭きだが、皮革保護用のケア剤をときどき塗布するといい。

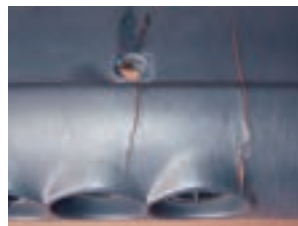
ダッシュボードは日光をまともに浴びるので、できればカーカバーを使うなどして、使わない時は日射しを避けるのが最大のケア方法だ。

いかに直射日光を避けられるかが長持ちさせるコツ

使われているのはこんな素材

ダッシュボードやインパネ回りは、クルマによっても様々な素材が使われている。代表的なものでは、ポリプロピレン樹脂やウレタンなど、またセンターパネルにはウッド合板やABS樹脂、アルミなども多く用いられる。

素材に見る ケア方法は？



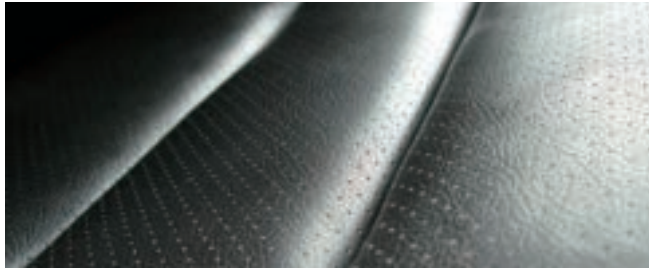
とにかく紫外線避ける

樹脂のダッシュボードやウッドパネルのクリアが割れたりするのは、紫外線による劣化が一番の原因。屋外保管時はシートカバーをかけるなどのケアが必要になってくる。



赤外線も意外な大敵

インテリアのケアというと紫外線ばかりに目が行きがちだが、赤外線の熱による素材の膨張も破損の要因となっている。赤外線カットフィルムをウインドーに張るなどの対策が有効だ。



昔、営業バンに使っているようなクルマで、全面ビニールレザー張りのシートをよく見かけたが、日本仕様の輸入車ではほぼ無い。ということは、シートの素材、少なくとも表皮はすべて天然素材であり、綿か革ということになる。つまりこの2つの素材の特性にあった使い方やケアをしてあげればいいわけだ。

まず布製シートは、とにかく織り目や編み目にホコリを大量に抱き込んでしまうことが多い。それゆえ、年に一度は全てのドアを全開にして、布団叩きのようなもので、座面といわず背もたれといわず、バンバン叩いてホコリを取り去ることが第一歩。掃除機を掛けるのは、“バンバン”の後が効果的。

ホコリを満足ゆくまで取り除いたら、次は水拭き。シート専用クリーナーのようなものがカー用品店で販売されているが、私はウール用洗濯洗剤を薄めて使うのも効果的。ウールや色柄ものOKの洗剤が、クルマのシートに使われるほど強靱な素材を傷めたりするわけがない。ただし洗濯機ですすぐことができないので、ごく薄く水で溶いて、表面を軽くゴシゴシ拭いたら、すぐに水で濡れたウエスで十分に洗剤分を拭き上げよう。最後に柔軟剤を水で溶いたものを軽く表面にスプレーして、乾燥させれば想像以上に良い感じに仕上がる。

レザーシートは、水で固く絞ったウエスで拭き上げ、十分に乾かすのみ。余計なことをするとベタベタで服が汚れたり、かえて妙なシワ汚れができてしまうので注意。

クルマの中では数少ない天然素材がメインで使用される個所

使われているのはこんな素材

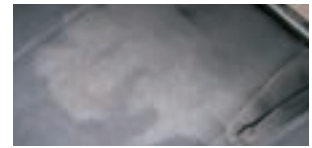
シートの座面を構成するのは、大別してレザー（革）とファブリック（布地）の2つがある。さらに革では、主に牛皮から作る本革や高級人工皮革のアルカンターラ、人工合皮（シートカバーに多い）など、多様な素材が用いられている。

素材に見る ケア方法は？



マメに掃除機をかけるべし

シートに残った食べカスなどは、放置するとダニや雑菌が繁殖する原因となる。マメに掃除機をかけてやるのが大切だ。



布のシミは取りづらい

布にジュースなどをこぼしてシミになってしまうと、水洗いする必要が出てくる。しかし車内で洗うと乾き切らず湿気が残ることや、シート下のコネクターなどに浸水してダメージを与えてしまう可能性があるため、設備のあるプロショップで取り外して洗わなくてはならない。小さい子供が乗る場合などは、普段から液体に気を付けることや、シートカバーの導入といった策も検討すべきだろう。

革シートの手入れは布より楽

レザーシートの手入れは、基本的にホコリを取って水拭きをしてやれば大丈夫。カー用品店に行くとか革専用のクリーナーや保湿剤などが数多く売られているが、それらを使うのは基本掃除を行なった後で十分。落ちにくい汚れは、水を含ませた柔らかいブラシでこすってあげよう。



ステアリングにはビニールレザーか本革巻きの2つがある。とはいえ、近年のクルマに使われている本革ステアリングは、染め上げたままの状態が使われているわけではなく、必ず塗装が施されている。つまり表面が合成樹脂であるというわけで、ビニールレザーのステアリングとケアの方法は基本的に同じ。ツルツルに仕上がって滑りやすくなると困る部分なので、水で固く絞ったウエスで拭き上げる。本革巻きの場合は、年に2、3度くらい、専用のレザーケアワックスを薄く塗っておくと、なお効果的だ。

ステアリングは革巻きでも樹脂塗装が施されている

使われているのはこんな素材

一般には樹脂素材を基本に、革やカーボン、ウッドなどで加工するパターンが多く見られる。滑り止めの効果も考慮している部分だ。

素材に見る ケア方法は？



樹脂のケアは他と同様に

樹脂のヒビ割れ対策については、基本的にダッシュボードなどと同じ。ここもアルコール系のワックスが有効だ。



色落ちには染色型ペイントで補修

擦れる頻度が多い部分だけに、革などは色落ちや剥げたりすることも多い。補修には染色型のタッチペンを使うと、色移りの心配も少なくして良い。

番外編 【タイヤ】



タイヤはゴムでできているから、ゴムを守るケア方法を考えればいい。ゴムは日光に多く含まれる紫外線やオゾンにとっても弱く、冒されるとヒビ割れが生じてモロくなってしまう。タイヤワックスやシリコン系のケア剤は、薄い皮膜を作ってやることで、紫外線やオゾンによる劣化を防ぐために使われる。よくシリコンとゴムの相性を云々して、それは間違った方法だという人がいるが、紫外線やオゾンに浴びまくるよりは劣化が進行しにくくなります。

消耗品の代表であるタイヤなので、いずれ交換は必要になる。ある程度割り切ってどちらが得かを考えればいいだろう。

シリコン系のケア剤を使うか否かは ゴムの特性を考えて

使われているのは
こんな素材

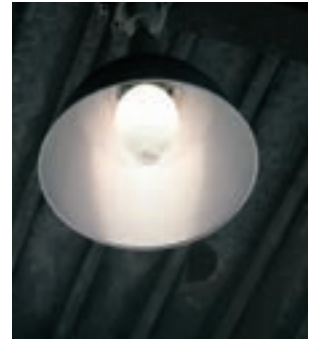
主成分はゴムだが、そこにカーボンや硫黄、シリカなどを配合し、タイヤとして適切な摩耗性や耐久性を作り出しているのが素材の特徴。また、表面からは見えないが、内部には強度を出すためナイロンやスチール繊維が織り込まれている。

素材に見る ケア方法は？



ワックスは塗り過ぎない

タイヤには活性剤が含まれており、走行時の伸縮によって徐々に染み出る構造となっている。ワックスを塗りすぎるとこの働きが阻害されるため、ヒビ割れを促進することにもなるので。



オゾンによっても劣化する

タイヤの劣化原因として、紫外線以外にオゾンの影響というものもある。保管する時は、オゾンを発生させる水銀灯の近くなどを避ける工夫が必要だ。

番外編 【ホイール】



どんな素材でできたホイールも、色がシルバーのものであっても、必ず塗装されている。ということは、ボディケアと同じように、汚れを落としてからワックスなどで保護被膜を作ってやればいわけだが、ブレーキダストが手強い相手なのだ。ブレーキダストは、ブレーキパッドに含まれる摩剤や樹脂分や、ブレーキローターから発生する鉄粉が成分です。パッドから出る汚れは、相当特殊なパッドでも使っていない限り、専用ケミカルで除去できるが、ローターから出る鉄粉はホイールに突き刺さった状態でサビてしまい、これがホイールを真っ赤に汚してしまふ。こればかりは、マメに洗って防ぐしかない。

基本ケアはボディと同じ しかしブレーキダストが 手強い相手となる

使われているのは
こんな素材

一般的には鉄やアルミ、高性能なものではマグネシウムなどが知られているが、多くはそれらにケイ素や亜鉛、マンガンなどを混合した合金（アロイ）となっている。また、ホイールにもサビ防止や光沢出しのため、塗料が塗られている。

素材に見る ケア方法は？



状態によってもケアは違う

洗浄のプロは、ホイールの素材だけでなく状態によっても洗剤を使い分けると言う。愛車にとってのベストを色々模索してみるのも面白い。



ダストはパッドだけじゃない

ブレーキダストの汚れは、パッドだけでなくローターの鉄粉も含まれる。パッドをあれこれ工夫するのでもいいが、掃除の必要は常にある。

令和6年10月吉日

会員の皆様へ

セイルシステム株式会社
マイ・スターネットワーク事業部

「Xentry Kit」ショートレンタル回数変更についてのお知らせ

拝啓

平素より当社の整備ネット会員サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

現在、Xentry・VCI テスター（新型車種対応版）を常設レンタルされている会員様を対象に、
ベンツ専用テスター「Xentry Kit」を月3回まで無償でショートレンタルさせていただいてお
ります。

しかしながら、最近 利用頻度が急増しており、より多くの会員の皆様にご利用いただけるよう、
2024年11月より、無償ショートレンタルの回数を月2回までに変更させていただくこと
となりました。また、予約につきましては、1ヶ月先までとさせていただきます。

ご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

引き続き、当社のレンタルサービスを有効にご活用いただき、整備業務にお役立ていただけ
れば幸いです。

敬具

令和6年度

被害者保護増進等 事業費補助金

自動車運送事業の安全総合対策事業
及び先進安全自動車の整備環境の確保事業



本事業の予算消化率(概算値)



2024年9月23日時点の状況です。

※申請受付された総額（審査中のものを含む）を基に表示しております。
なお、審査等により却下または取り下げされたものは含んでおりません。

次回更新予定日 2024年9月30日

※更新予定日は変更となる可能性があります。



令和6年度被害者保護増進等事業費補助金事務局へ
詳細はお問合せください。



補助金対象商品を取り扱っています。

- ・ スキャンツール
- ・ アライメントツール
- ・ バッテリーアナライザー
- ・ TPMS

SAIL SYSTEM



MAHLE

マーレ(MAHLE) 1920年設立。
本社はドイツ・シュトゥットガルト。
ドイツに本拠地を置く
自動車部品メーカーです。



MAHLE兄弟

自動車エンジン用のピストンに強みを持ち、

ピストンメーカーとしては **世界シェアNo.1** を占めるグローバルサプライヤーである。

世界中で生産されている自動車の **2台に1台はマーレの部品** やシステムを搭載しています。

MAHLEの成功は、1920年、自動車エンジン用として鋳鉄ピストンが全盛の時代に、軽合金ピストンの製造を手掛けたことに端を発します。当時の技術では、合金ピストンの製造は多難を極めました。この時、エンジン内部に悪影響を及ぼす埃や塵を濾過する必要に迫られ、オイルフィルターやエアフィルターの開発にまで着手しました。そして、MAHLE兄弟の粘り強い取り組みが実を結び、後に軽合金ピストンが鋳鉄ピストンの市場を取って変わりました。



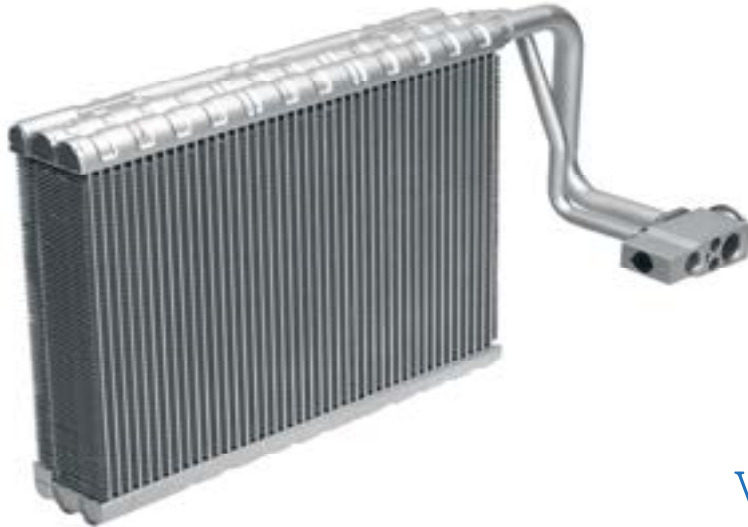
MAHLE 製商品ご紹介いたします!

エアコンコンプレッサー

マーレのCVC (Compact Variable Compressor) は、斜板の単振動機構に基づく次世代コンプレッサーです。可変容量ピストン式コンプレッサー技術を採用。高機能の機構設計により、CVCは空圧制御と電子制御の両方に対応しています。

マーレのCVCは、広範囲な車種に対応するように設計されています。現時点では、排気量100cc~185ccに対応しているほか、特定用途向けのCVCを設計・開発することも可能です。マーレのCVCは、温度式膨張弁システムとオリフィス管システムの両方に対応可能です。

BMW E46 使用可能 ACP343000S



エバポレーター

マーレのフラットチューブ式エバポレーターは、省スペース・軽量設計でありながら、高性能を実現しています。

特許取得の特殊なコーティング技術「BehrOxal®」によりアルミ表面の親水性を高め、撥水性を向上させることで、エバポレーターによる乾燥時間の短縮化を実現しています。さらに、耐腐食性の向上や不快臭の低減効果もあります。

VW POLO 使用可能 AE93000P

ベンツ W176 Aクラス 使用可能
ATフィルター HX232D

AUDI A5 使用可能
エアコンプレッシャースイッチ ASE21000P

他にもMAHLE製在庫多数ございます! お問い合わせお待ちしております!



ロジスティックパーツセンター
TEL:06-6652-2400 FAX:06-645-0330

● COVER MODEL : Mercedes-Benz 190SL



SAIL SYSTEM

セイルシステム株式会社
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATCビル ITM 棟 9 F K-2

